

いくぶん



第21号 2016.10.21

秋冷の候、皆様方にはご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は育児文化研究センターの活動につきまして温かいご指導・ご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。

高田短期大学育児文化研究センターは地域連携機関として地域社会の貢献と連携を目指し、子育て支援に寄与することを目的として取り組んでまいりました。今年度もこれまでの活動を継承しながらも、子育て環境の現状や地域のニーズに沿った事業を進めています。

地域開放事業「おやこひろば たかたん」は、親子が安全にくつろぐ環境を提供し、親子、子ども同士・親同士がふれあえる楽しい場、そして子育てについて互いに学べる場をめざして運営に努めています。さらに、保育者養成校の中にある広場として学生にとっては、保育環境を考え、乳幼児期の発達の実感し、保護者とかかわることができる実学的な場となっています。「おやこひろば たかたん」が、参加されるファミリーにも、学生にとってもより有意義な空間となることを願っています。

今日、子育ての環境は大きく変化しています。従来は家族だけでなく地域でも子育てが行われ、子どもは家族や地域社会、異年齢の子どもの中で自然に生活していましたが、近年では、核家族化や地域とのつながりの希薄化にともない、子育てを親だけが担わなければならなくなってきました。そのような環境の変化により「子育て支援」についてもクローズアップされるようになりました。しかし、「子育て支援」という言葉が独り歩きをし、子育て中の親、中でも母親にとってはその中身を実感できるものは少ないかもしれません。少しでも地域の保育・子育てに貢献できる短期大学のセンターとして情報収集と情報発信、研究および事業活動に努めてまいります。今後とも、育児文化研究センターにご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

育児文化研究センター主任研究員 青木信子

おやこひろば たかたん



おやこひろばたかたんは今年で6歳になりました。丁度学校に入学する年齢と同じで、大きな節目のときでもあります。4人のスタッフになって3年目を迎え、子どもたちの思いや保護者の方の思いを感じると共に発達年齢に見合った助言や場所づくりを心がけるようにしています。私たちが寄り添い、見守ることで、家族の絆の中で子育てをしていってもらうことや、子育てをしている保護者同士のつながりを感じてもらえるようにと思っています。子育ての不安を受け止め、子育てに自信が持て、楽しさを感じ自己解決ができるような助言を心がけていきます。



おやこひろば たかたん

28年度

頑張っているお母さん 疲れすぎないで…

子どもの成長を感じ、家族協力して子育てをしてみえます。

「ハイハイができるようになって、自分で欲しい物を取りに行ったり、行きたい場所に行くようになって…」

「離乳食をはじめました、あまり食べません」「ぐずって困っていた時に、お父さんがあやしてくれ落ち着きました」等

家庭でのエピソードをお母さん同士や、私たちに話される姿がみられます。それぞれの家庭で考え方や環境が違っているので、みな同じようにはいきませんが話すことで参考になるアドバイスがもらえたりします。

お互いに自分を知ってもらえ、支えあっていくことで、子育ての楽しみへとつながることでしょ。

お母さんママ友作り

「同じくらいですね」

「離乳食はどんな物を食べますか？」

「夜泣きはしませんか？」

「お話し聞け安心しました」



お母さんと一緒にハイハイ

子「ママ まってー」

親「頑張れー」

ここまでおいで」



大人でも楽しい

親「楽しいー」

子「わー（無言で）」

親「ほーら

降ってきたよー」



青空の下で

ひらひら舞い落ちる、

色とりどりの紙

両手を広げて

親子「わー きれい」



(おやこひろばたかたんエピソード記録より)

ボランティア学生の声



子ども学科2年生 平山 幸美

今回、ゼミの中でおやこひろばに参加する保護者の方々に子育てに関する調査をさせていただきました。子育てをする中で抱えるストレスなど自分たちだけでは分からなかったことを実際に子育てする保護者の方々に協力していただき、知ることが出来ました。

また、この調査からなぜこの結果になったのかゼミのメンバーで話し合い、子育てをこういう風に考えているからではないかなど自分の意見を伝え合い、考えを深めました。

この調査に協力していただいた保護者の方々に感謝し、子育てに寄り添っていけるような保育者になりたいと感じました。



子ども学科1年生 梅森 舞

一人の子が輪投げをやりたいそうにしていたので輪を渡してみましたが、まだ遊び方がわかっていないようでした。そこで、私が見本を見せると、その子は棒に輪をかけることができました。「よくできたね!上手!」と声をかけると、その子は嬉しそうに何度も同じことを繰り返していました。すると今度は

お母さんに輪を渡して「一緒にしよ」と言うのです。この子はきっと自分がやってみて楽しかったことをお母さんにも体験してもらいたかったのだらうと考えました。このおやこひろばでは、子どもたちが今までできなかったことができるようになったり、自分の気持ちを素直に表現できるようになったりして心の成長にもつながっていく場だと思います。

平成28年度 子育て応援隊

10月現在

No	月日	行 事	内 容	応募人数	依 頼 団 体
1	7月9日	高田保育園夏まつり	夏まつりボランティア	11	高田保育園保護者会
2	7月16日	ほうりん保育園夏祭り	夏祭りボランティア	6	ほうりん保育園
3	7/21～8/31	夏休みの宿題と遊びのボランティア	夏休みの宿題と遊びのボランティア	随時	みどり自由学園
4	7月21日	高田幼稚園夏まつり	模擬店の手伝い・園児の補助	17	高田幼稚園
5	7月23日	納涼大会	バザー・ゲームコーナー企画手伝い等	8	まつさか幼稚園
6	8月5日	乳幼児教室	高短のお姉さんと遊ぼう	6	鈴鹿市石業師公民館
7	8月6日	平成28年度第33回納涼祭	納涼祭手伝い	5	社福)三重済美学院
8	8月6日	さくら保育園 夏まつり	夏まつり手伝い	5	(社)慈徳会 さくら保育園
9	8月7日	2016 Ene-1GP SUZUKA ブロックで車を作ろう!	子どもたちとブロックを使って制作をする。	9	鈴鹿市立白子幼稚園
10	8月7日	しんまち夏まつり	バルーンアート	5	新町地区自治会連合会
11	8月25日	稲刈り	保育園前の田んぼにて(稲刈り)	5	ハートピア保育園
12	8月25日	三重大小児科「2016ぞくよん夏祭り」	三重大学附属病院小児科「夏祭り」	10	三重大学学生団体「ぞくよん」
13	8月26日	子育てサロン	親子で遊ぶ手伝い	6	子育てサロン「よりあい」
14	9月18日	交通安全フェスタ	バルーンアート	6	津ドライブインスクール

今年度も多くの学生が、子育て支援や子どもに関する行事など、さまざまな場で「子育て応援隊」としてボランティア活動をさせていただきました。



新入会研究員の紹介



高田中等学校で仏教科を担当して今年で28年目ですが、今春から高田短期大学子ども学科にも所属し、仏教学とゼミを担当しています。「にんげん なんのためにいきとるげん」。これは石川県の小学校一年生、まゆみちゃんの作文だそうです。
また、ある中学生が親に「人は何のために生きているの?」と質問したら、親からは「そんなことは今考えなくても、大人になったら自然とわかること。今は勉強をがんばっていいの!」と言われたという話もあります。「星の王子様」の「どんなおとなたちも、一度は子どもだった。でもそのことを覚えている大人はほとんどいない」の言葉を忘れず、子どもたちから学び続けたいと思います。
松山 知道



今年度より育児文化研究センターの研究員として参加させていただくことになりました坂口と申します。三重県立みえこどもの城・連携推進グループで、三重の子どもたちと子育て家庭を応援する事業の企画・運営をしています。
みえこどもの城では、企業・団体・学生など「子どもたちの育ちを応援したい!」という地域のみなさまと連携して、お仕事体験・昔遊びといった様々な活動を行っております。
初めはみえこどもの城と子どもたちと地域のみなさまの三角形でしたが、年々ご協力いただける方々が増えて、どんどん丸くなってきたと感じています。
今後も地域と子どもたちをつなぐ懸け橋また活動拠点として、みなさまとの連携の輪をさらに広げてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
坂口 幸穂



4月に子ども学助教として着任し、児童福祉科目の講義や施設実習指導を担当しています。母子生活支援施設職員時代に出会った当事者から多くのことを学び、今日まで研究を進めてきました。社会的に弱い立場にある人々が声をあげられる社会の実現を目指し、また、そのような方々の思いを代弁できるように、日々努めていきたいと考えています。
今後は会員の方々から多くのことを学び、自らの専門性向上に努めるとともに、広い視野で「子育て支援」をとらえられるように精進していきたいと考えています。
ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。
武藤 敦士

～前期センター会議～

- 前期センター会議が5月18日(水)に開催されました。
- 1.平成27年度事業報告と平成28年度事業計画について
 - 2.話題提供/河崎道夫研究員より「子どもの遊びと発達ー自然との遊びを中心にー」
 - 3.グループ研究紹介
 - (1)「子育て支援の現状と課題」
 - (2)「子育て支援のひろばについて」
 - (3)「子どもの基本的な生活習慣の発達基準と育児」
- 後期センター会議は12月6日(火)を予定しています。



～第44回定例研究会～

- 第44回定例研究会が7月12日(火)に開催されました。定例研究会では研究員それぞれの研究・専門分野からご報告いただき、研究員間での研鑽を深める会としていきます。今年度第1回目は、青木信子研究員より「幼稚園実習における学生への指導のあり方に関する一考察」、長倉里加研究員からは「子どもの病気に関する親の不安と対処行動 ～おやこひろばたかたんに来る保護者のアンケートから～」に関する研究発表がなされました。
第45回定例研究会は11月2日(水)、第46回定例研究会は平成29年2月14日(火)を予定しています。





津市委託事業

津市ひろば関係者交流会事業(つながりひろば)

津市内の子育て支援の関係者、関係機関がネットワークを広げ、連携を深めるための取り組みを実施しています。

第1回 6月23日(木) 18:30~20:30

浜っ子幼児園子育て支援センター

①話題提供「安心できるひろばづくり～公立保育園での支援センターの役割と現状」

②ワークショップ「気になる親子に寄り添うために」

第2回 8月25日(木) 18:30~20:30 津市中央保健センター

①話題提供「保健センターでの子育てひろばから見えるもの～母子保健推進員(つぼみん)の取り組み～」

②ワークショップ「知ってもらうためにできること」

第3回 11月17日(木) 18:30~20:30

第二はなこま保育園 わくわくの森

①話題提供「私立保育園における支援センターの役割」

②ワークショップ
「お父さんを巻き込む手立て」

第4回 2月開催予定

北都市民センター「にこにこキッズ」



津市親支援事業

お母さん、お父さんを対象にした「子どもとの愛着形成、お母さんのリラクゼーション」についての研修会を企画、実施しています。

前期ファミリー教室 7月10日(日) 10:00~12:00

会場:高田短期大学

後期ファミリー教室 11月12日(土) 10:00~11:30

会場:久居総合福祉会館

父親コース「遊ぼう お父さん!親子で育もう体の力」

講師:柳瀬慶子

母親コース「ゆったり語ろう、つながろう!」

講師:青木信子



津市子育て支援者事業

子育て支援者を対象に、親子のかかわり支援について「親支援の援助技術」を中心に企画、実施しています。

第1回支援者研修会 7月28日(木) 18:30~20:30

会場:高田短期大学

テーマ:「気になる親への対応」

講師:NPO法人MCサポーターみっくみえ 松岡典子

第2回支援者研修会 1月開催予定



子育てママの「ホッと」ひろば事業

子育て中のお母さん同士が、日ごろ思っていることを何でも話せる集まりです。臨床心理士の先生のサポートを通して実施しています。

第1回 8月23日(火)

第2回 11月19日(土)

第3回 2月開催予定

いずれも10:00~12:00

会場は第1回、第2回は高田短期大学

第3回は桜橋子育て支援センター



講師:橋本景子

地域への子育て支援の事業として、育児に関する心配や不安を相談できる個別対応の「子育て相談」を予約制で行っています。担当は本学子ども学科教員です。詳しくはホームページをご覧ください。

相談内容	担当者	平成28年度基本相談日
発達相談	千草篤磨	第3火曜日①10時②11時
子どもの食	鷺見裕子	第3木曜日①13時②14時
子どもの健康	長倉里加	第2月曜日①12時半②13時半
子育て・教育	青木信子	第4金曜日①10時

センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学 育児文化研究センター

〒514-0115

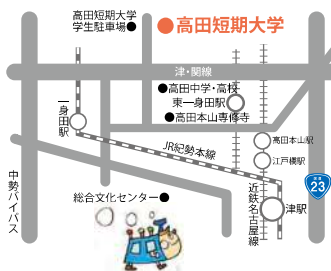
三重県津市一身田豊野195

TEL. (059) 253-7020 (センター直通)

(059) 232-2310 (代表)

FAX. (059) 232-6317

Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



子育て講座

おやこひろばたかたんで月に1回「子育て講座」を行っています。今年度後半は親子で一緒に遊ぶ活動が中心となっています。詳しくはホームページをご覧ください。

日時	テーマ	講師
10月17日(月)	親と子のための歌あそび	福西朋子
11月17日(木)	親子ふれあいリズム遊び	太田和子
12月19日(月)	親子で楽しむもの作り	林韓燮
1月19日(木)	親子ふれあい遊び	青木信子
2月20日(月)	お楽しみ会	たかたんスタッフ